



8月5日（火）午後の部④ 難聴児の指導Ⅱ 「きこえの教室での指導について」

夏期全国研修会「はじめのいっぽ 2025」
立川市立第八小学校 きこえとことばの教室
小出喜美子

立川市立第八小学校
きこえとことばの教室
公式キャラクター
きこるん・ことるん

今日お話しする内容

- ▶ ①きこえの教室に求められること
- ▶ ②実際の指導について
- ▶ ③子供たちに身につけさせたい力

自己紹介

- ▶ 横浜市内の きこえとことばの教室 1年間
- ▶ 東京都立ろう学校 幼稚部・小学部 12年間
- ▶ 東京都内の小学校 きこえとことばの教室 6年目

※食べ盛りの高1と小5の男子二人のママです

※週末は次男の野球チームの母マネージャーとして忙しい日々 ^^

通級の実態は自治体によって大きく違う！

- ▶ A市では当たり前に行えることが、B市では難しいことも・・・

今日お話しする内容

- ▶ ①きこえの教室に求められること
- ▶ ②実際の指導について
- ▶ ③難聴児に身につけさせたい力

小学校入学後、難聴のお子さんが困ること

幼稚園・保育園と小学校の大きな違い

体験学習から机上の学習へ

⇒見て分かる活動が減り、聞く・話す活動が中心になる。

学年が上がるにつれて、目の前にない抽象物について、言語でのやりとりだけで授業が進んでいく。

※難聴児は周りを見て動くことが多いため、表面上は一見問題ないように見られがち。

しかし実は中身は理解していないことが多く、積み重なっていかない。

※未就学時は問題がないと思われていた子が、小学校に入って課題が見えてくる。

※9歳の壁…イメージすることが苦手。抽象的な学習内容が増える9歳でつまずく子が多い。

ろう学校乳幼児教育相談
(幼稚園に在籍して月一回程度ろう学校で
指導を受けている)
年長児の保護者向け勉強会の資料から抜粋

通常の小学校では、どんなことに困るの？

①授業中の音の聞こえにくさ

通常学級はとにかくうるさい！！

友達の話し声、椅子や机を引きずる音、隣のクラスのピアノの音、
上のクラスのダンスの音、校庭の笛の音、選挙カーの音、廊下の友達の泣き声・・・

⇒・先生の声が聞こえない。 ・友達の発言が聞き取れない。
・周りの友達がどうして笑っているのかわからない。

→自己肯定感の低下、学習が積み重ならない

※補聴器は聞きたい音だけでなく、すべての音を増幅させる。

※聞こえる子供たちはカクテルパーティ効果でうるさい中でも聞き取れている。

通常の小学校では、どんなことに困るの？

②友達とのコミュニケーションのすれ違い

1. 授業中

近年、アクティブラーニングが重視。小1でも頻繁に話し合い活動がある。

(「この問題の答えを3分間で3人のお友達に聞いてみよう。」など)

ところが、ガヤガヤの中で、相手の声が聞き取れない。

2. 休み時間

遊ぶ中でのやりとり

(ルールの相談、昨日のテレビの話、放課後の遊びの約束など)

騒音の中で、あちこちから声が飛んてくる。

分かったつもりでも、すれ違っていることがしばしば。

通常の小学校では、どんなことに困るの？

③補聴器機器の取り扱い

- ・高価なものだから、友達が補聴器に触らないか心配
- ・電池が切れた時の交換は、誰が？どこで？
- ・プール指導の時はどうするの？

通常の小学校では、どんなことに困るの？

④その他

- ・補聴器をつけていることで、からかわれたりしない？
- ・どこまで担任の先生にお願いして良いの？
- ・難聴のことを先生にも、友達にもわかってほしいのだけど・・・。
- ・担任以外の先生が授業をすることもあるのだけど...

学校生活をスムーズに送れるよう

指導・支援する場が「きこえの教室」です！！

きこえの教室には
絶対につながっておいたほうがお得^^★
と伝えていました

きこえの教室に求められること

- ▶ 聴力管理
- ▶ 機器管理指導
- ▶ 言語力（コミュニケーション力、語彙力、文章読解力、構文力）の向上
- ▶ 聞き取りの力
- ▶ 発音練習
- ▶ 障害理解・障害受容
- ▶ 進路指導
- ▶ 環境調整（在籍校・家庭）

など、結構盛りだくさん・・・

→ 週1回2時間程度の指導でいかに効率よくやるか！？

今日お話しする内容

- ▶①きこえの教室に求められること
- ▶②実際の指導について
- ▶③難聴児に身につけさせたい力

きこえの教室での指導の柱

- ▶個別指導
- ▶グループ指導
- ▶環境調整

難聴児の担当の先生へお願い

難聴の児童はいつも**頑張**って聞こうとしている。

保護者向け講演会 きこえの教室卒業生の成人の難聴の方の話

「手話に出会うまでずっと**頑張**って**聞く**ことが当たり前になっていた。
学校でも家でも、毎日毎日、**頑張**って**頑張**って**聞こえる人たちに合わせて**耳を使って一生懸命聞いていた。聞き取れなかったら、一生懸命推測して。分からなくても、**分かったふり**をして話を合わせたり。その時はそれが当たり前だったから何とも思っていなかったけれど。」

手話に出会ってから、コミュニケーションが楽になって、もっと早く手話を知っていたらと思った。**小・中学校時代、自分はすごく頑張**って**聞いていたんだ**と後で思った。ろう学校という選択肢を知っていたら、そっちを選んだと思う。」

きこえの教室では、**頑張**らなくても、先生の話が分かる環境であってほしい、あるべき。

そのためには？

どんな話し方？どんな指導内容？どんな支援？

難聴の子への話し方

「ゆっくり、正面から、はっきりと」

- * ゆっくりすぎるぐらいを意識して。
- * 正面から口元を必ず見せる。口形を読み取る練習にもなる。
- * 必ず目が合ってから、話す。
 - ×...Tが何かを書きながら、後ろを向いたまま、
 - ×...Cが何かを書いている時、後ろを向いている時
- * 対象児の聴力に合わせてTの声の出し方を意識のする。
 - 低音が聞こえにくい場合・・・高い声で
 - 高音が聞こえにくい場合・・・低い声で
- * 対象児の聴力に合わせた声量で
 - 参考...ささやき声30dB、普通の会話60dB、教室のTの声70dB、大きな声80dB
- * 静かな場所で。騒音下では特に聞きとりにくい（教室、廊下など）
- * 補聴器を外した時（補聴器チェックや聴力検査の時）は
全く聞こえていないと思って、よりゆっくりはっきり身振りもつけて接すると良い

指導内容の組み立て方

必ずP D C A（Plan Do Check Action）サイクルの実行を

- P（計画）** 実態把握（生育歴は？聴力は？言語力は？現在の課題は？保護者のニーズは？）
個別指導計画の作成（長期目標・短期目標の設定）
その日の指導のねらい
ねらいを達成するために、どのような指導の方法を実践するのか
指導準備
- D（実行）** 授業
- C（評価）** 児童の課題達成度は？ 良かった点、見直しが必要な点は？
- A（改善）** 次の指導の計画

ある日の指導（小1 中等度難聴児）

★きょうの よてい★
()月 ()日 ()曜日

- 1 カレンダー
- 2 おはなしタイム
- 3 ほちようきしらべ 
- 4 ききとりクイズ
- 5 おくちの たいそう
- 6 はつおん れんしゅう
- 7 ことばのプリント
- 8 えほん
- 9 ミニグループ

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

【個別 4 5 分】

- ▶ カレンダーワーク 3分（連絡帳チェック）
- ▶ お話タイム 5分
- ▶ 補聴器調べ 3分
- ▶ 聞き取りクイズ 3分
- ▶ お口の体操 3分
- ▶ 発音練習 5分
- ▶ 言葉のプリント 15分
- ▶ 絵本 8分

【ミニグループ】 4 5 分

▶ カレンダーワーク（出席シールを貼りつつ）

- ・年、月、日、時間に関する概念の弱さ（目に見えないもののイメージの難しさ）がある難聴児が多い。
 - ・言葉だけでなく時間の長さの感覚を身につけることも大事
- *日 … 昨日、今日、明日、明後日、おととい、毎日、先日、一日は何時間？
- *週 … 今週、来週、再来週、先週、2週間後、毎週、一週間は何日？
- *月 … 今月、来月、再来月、先月、先々月、2か月後、翌月、31日がない月は？
- *年 … 今年、来年、再来年、昨年、去年、毎年、西暦何年、令和何年、うるう年

【質問例】

「来週の水曜日は何日？」「今月は何日までである？」「来月は何月？」
「第3月曜日は何日？」「終業式はいつ？」「誕生日はいつ」など



お話タイム

- ① 児童とのラポールを築く
この先生とずっと話したい！伝えたい！と思わせる聞き方、共感性
- ② 言語力の向上のために
・コミュニケーション指導
いつ、どこで、だれが、なにを、どうした？整理して、最後にまとめて話す
会話のキャッチボール、傾聴態度
・構文、文法チェック、誤った表現はないか？
・語彙の整理、+αの知識を
・表面上のやりとりにならないように、深く考える質問をしていく
- ③ 発音のチェック 練習音が会話内でどの程度、般化できているか？
- ④ 1対1の静かな個別場面での程度聞き返し、聞き誤りがあるか。
普段と比べて、聞き返しが多くないか？聴力に変動はないか？
- ⑤ 家庭や学校のできごと、友人関係、学習面の悩み、気になる点はないか。
保護者や担任に伝えるべきことがないか。

こんな観点で
お話しています



The figure shows a blue electronic device on the left, which has two meters and a switch. An orange arrow points from this device to a circuit diagram on the right. The circuit diagram shows a meter movement with a switch and a label 'S-indicator'.

言語力の向上のために

そもそも「言語力」って！？

語彙力、コミュニケーション力、言語表現力、言語理解力、作文力、読解力、思考力、構文力・・・たくさん！！

- ・日記、作文指導（助詞、授受文など）
- ・お話づくり（絵の並べ替え、吹き出し）
- ・季節や行事の言葉
- ・時事ニュースの話題

NHKニュースウェッページや、子供新聞の記事などを題材に世の中の出来事を知る。

一般知識、興味の拡充、語彙の増加、概念形成

家でもニュースや朝夕の情報番組をお勧め。テレビには必ず字幕を付けてもらう。

- ・絵本の読み聞かせ 読むだけでなく、内容や言葉の意味、心情の確認、お話の続きを考えるなど、やりとりしながら読解力を深める。

- ・読解力 短い文の読み取り

- ・Reading-Test、J-COSS、LCSAなどの検査も併用しながら

与えなければ
入らない！！

言葉のシャワーを

とにかく視覚教材の併用が大事！！

- ・抽象的なものが苦手。
 - ・机上の学習だけではイメージがしにくく定着が難しいため、実際の経験と結び付けていくことが必要（経験教育の重要性）
 - ①音声だけでなく、文字に書いて図式化して説明！
 - ②画像や動画を見せる！
 - ③一緒に体験するのもよし！（工作、調理、飼育、栽培など）

↓

 - ④ノートに文字や絵・写真などで残しておく
（1度では定着しない、何度も振り返るように）
- ・学習でのつまずき...通信教育教材のすすめ
（画像・動画が分かりやすく、次の単元の予習ができる）

障害受容・障害理解

※タイミングは保護者と相談をしながら

- ・聴力検査を一緒に行う。オーディオグラムの読み取り方
- ・自分の聴力について
（何dBで、どのくらいの音まで聞こえるのか、高音低音の差は？左右差は？）
- ・聴覚障害についての学習（難聴の種類、程度）
- ・学校で困る場面の対応を一緒に考える
- ・自分はどのコミュニケーション手段が一番有効で、どんな支援があったら分かりやすいのか。
⇒自分で相手に説明し、支援をお願いする力を身につける。
- ・理解授業で自分の難聴についての説明
- ・成人聴覚障がい者 ロールモデルとの交流

教材使用例：「難聴理解かるた」

制作・難聴児支援教材研究会

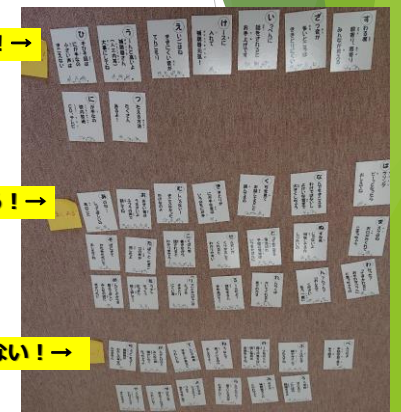


「これ、わかるー！！」「たしかに！！」
「実は私もこれあるんだよね。」
→困り感の気付き、共有になる

よくある！→

たまにある！→

これはない！→



手話や指文字に触れる機会を作る

【手話のメリット】

- ・頑張って耳から聞こうとしなくても、話が見て分かる！
- ・聞き取れない音を指文字で確認できる。
- ・将来、手話使用者とコミュニケーションの輪が広がる。

*中～重度の聴力の場合、音声と合わせて、補助手段として手話があるほうが分かりやすい。
今のうちに触れておいて、将来的に自分自身でコミュニケーション手段を選択できるよう、選択肢を広げる。

*軽度の聴力の場合、将来的に主たるコミュニケーション手段として使うことはなくても、補助手段として使用すると、聞き漏らしや聞き誤りが減る。騒音下でも有効。

導入は慎重に。必ず保護者や本人に確認をしてから。望まないご家庭もある。

進路指導

- ・学校調べ（校内通級、校外通級、ろう学校、公立と私立の違い）
- ・学校見学
- ・特徴についてまとめる
1クラスの人数は？通学時間は？コミュニケーション手段は？
支援の厚さは？学習環境は？
→個別学習で一緒に整理、保護者面談、学級担任の意見
- ・何を重視するか。
将来どんな子に育ってほしい？ そのためにはどんな進路？

お子さんの実態や保護者の方の希望をふまえて、
より良い進路と一緒に考えていきましょう

＜進路についての学習～中学校調べ～＞

学区	学区の中学校	隣の中学校	通級学級	ろう学校
通級形態	通	通	通	通
通学時間	15分	15分	15分	15分
1クラスの人数	25人	25人	25人	25人
コミュニケーション手段	手話	手話	手話	手話
支援の厚さ	手話	手話	手話	手話
学習環境	手話	手話	手話	手話
保護者面談	手話	手話	手話	手話
学級担任の意見	手話	手話	手話	手話
将来どんな子に育ってほしい？	手話	手話	手話	手話
そのためにはどんな進路？	手話	手話	手話	手話

きこえの教室での指導の柱

- ▶個別指導
- ▶グループ指導
- ▶環境調整

グループ活動の内容

うちの学校では

★ミニグループ活動・・・週1回1時間 校内難聴児3名

- ・学校行事の振り返り、予習（言葉の確認、見通し）
- ・プールや運動会などと運動して支援内容の確認
- ・休日の出来事の発表
- ・話し合い活動
- ・工作、栽培、調理活動
- ・ルールのある遊びなど

★グループ活動・・・月1回1時間 市内難聴児7名

- ・学校で困ったときの対応方法 ・お互いのきこえについて知ろう
- ・どんな補聴器使ってる？ロジャーって？
- ・成人聴覚障害者を招いてワークショップ
- ・ろう学校の紹介 ・デフリンピックについて
- ・手話学習タイム
- ・お楽しみ会に向けての準備（お店の練習、手話ダンス）、ゲームなど

グループ活動のねらい（児童）

★難聴の仲間づくり

家でも学校でも、聞こえないのは自分だけ。「どうして？」疎外感、孤立感
補聴器をつけている同じ難聴の仲間がいることで安心感をもつ。

→聞こえにくさによる様々な経験、悩みを共有できる。

→難聴は狭い世界なので、将来もきっとずっとどこかで仲間とのつながりが ^ ^

★障害理解、障害受容

人によって聴力や聞こえ方の特徴、使用している機械が違うことを知る。

★支援方法について知る

- ・集団補聴システム...ロジャー？他の子はどんな機械を使っている！？
- ・学校でどんな支援を受けている？プールの時、英語の授業など
- ・要約筆記、PCテイク、UDトーク

グループ活動のねらい（保護者）

★保護者の情報交換、ネットワーク作りの場として

「みんなどんな機械を使っているの？」「どんな支援を受けているの？」

「学校でのプールはどうしてる？習い事は？中学校は？手話は必要？」

「どうして私だけ聞こえないの？と聞かれたら・・・」

難聴児をもつ保護者が、子育ての悩みや補聴器に関する情報など、共有できる人が
同じ学校にはいない。保護者同士の交流の場として。

⇒保護者懇談会の開催

★保護者の学習の場として

講演会、補聴器勉強会、手話勉強会などの実施

R7年度本校実施例：

講演会「デフリンピックと私の生い立ちについて（1学期）」講師：自転車競技デフリンピック

「難聴児にとっての英語教育について（2学期）」

講師：きこえの教室出身のろう学校英語教員

勉強会「保護者向けミニ手話勉強会（月1回）」

きこえの教室での指導の柱

- ▶個別指導
- ▶グループ指導
- ▶環境調整

難聴のお子さんが、学校生活がスムーズに送れるよう周りの
環境を整える調整役となります。

専門的立場から、医療機関・保護者と連携しながら学校に支
援をお願いしていきます。

環境調整が必要な場合は？

※①②は保護者にアドバイスのみ

①家庭

家でもゆっくりはつきり大きな声で、家族の話が分かるように

- * 他の家族だけで話がすすむと、疎外感を感じる。
- * 「夜ごはんの支度中、キッチンから呼びかけても聞こえない。」
「車の運転席から後部座席に話しても聞こえてない。」
→家庭内でもロジャーを使うと、便利。
- * 「テレビの音が大きすぎてうるさい」
→字幕があると分かりやすい。（正しい言葉の獲得のためにも）
→Bluetoothなどで補聴器に直接音を飛ばせる機能も活用するとよい

②放課後の活動場所（学童や習い事など）で

- * 難聴については、事前に伝えておく必要がある。
- * 必要に応じて、先生にロジャーを使ってもらう。

③学校にて

○座席の配置

- ・前から2, 3番目の真ん中あたりの席が良い
― 書前は、周りの状況が見えにくいと逃げた方がよい。窓側は太陽がまぶしく見えづらい。廊下側は騒音が大きい。
- ・左右の聴力に差がある場合は、良い耳側に先生が立つ席に。

○授業中の配慮

- ・大きな声でゆっくりはっきりと話してほしい。ひそひそ声は聞こえにくい(×伝言ゲーム)
- ・必ず口を見せてほしい(マスクは透明マスクをお願いする)
- ・聴聴児が見ていることを確かめてから話し始めてほしい。
- ・黒板に文字を書きながら話さないでほしい
- ・視覚情報を多く利用してほしい。特に数字やキーワードとなる言葉はジェスチャーや黒板に書いて示してほしい。
- ・友達の話は聞き取りづらいので、発言後に先生に「そうだね、○○だね。」と復唱してほしい
- ・理解しているか、時々個別に確認してほしい
- ・国語でCDの聞き取り問題は、先生の肉声に変更してほしい。
- ・放送が聞き取りづらいので、個別に伝えてもらいたい。
- ・集団補聴システムのマイクをお願い

○ブルでは？音楽の授業は？体育は？遠足では・・・ ○もし校外学習中に雨が降ってきたら・・・

⇒ご家庭から、これらを全部細かく要望するのは大変！！

きこえの教室から随時、具体的なお願いするのが良い。
実際に授業の様子を見に行き、担任と連携できると良い。

英語の授業での支援例

近年の小学校の英語教育は、会話重視！アクティブラーニングが増え、ヒアリングも頻繁に
→難聴児は母国語ではない英語は、日本語と違って推測ができないため、
正確に聞き取ることは難しく苦手意識をもちやすい
「先生が何と言っているか分からない！」「テストでヒアリングの問題ばかり・・・」

本校で行っている支援の例

＜予習＞

・個別指導の時間に次の単元の予習をして、キーワードやキーセンテンスを確認

＜授業中＞

・交替でP C テイク

・聞き取りは、指導書のコピーにカタカナ表記を書き入れたものを手元に置いておく

・ロジャーと再生端末をつないで、ダイレクトに補聴器に音をとばす

英語支援の写真

きこえについての理解と支援のお願い

クラスの友達にお願いしたいこと

- ・耳が聞こえにくい
- ・見えにくいから眼鏡をつけるように、聞こえにくいから音を大きくするための補聴器をつけている。
- ・補聴器は一台で、ゲーム機が何台も買えるぐらい高い。
- ・補聴器はその子にとってお耳の代わりでとても大事な物。
絶対に、触ったり、「貸して」と言ったりしない。
- ・聞こえにくいので、無視をしているわけではない。
話しかけるときは、名前を呼んだり肩をたたいたりしてから正面から話してほしい。
- ・ヒソヒソ話は聞こえない。
- ・大きな声でゆっくりはっきり話して。
- ・放送の音が聞こえにくいので、内容を教えて。
- ・一斉に話されると聞き取れない。一人ずつゆっくり話して。
- ・班での話し合いでは、ロジャーを使って。

本人・保護者の要望に応じて、担任から話をしてもらう。

難聴理解授業

- ▶ きこえないってどういうこと？
- ▶ 難聴体験
- ▶ 補聴器体験
- ▶ きこえない人たちの生活の工夫
- ▶ ロジャーをつけると？
- ▶ 手話クイズ
- ▶ デフリンピックの紹介
- ▶ 音声認識ツール体験
- ▶ デフサボ紙芝居
- ▶ みんなにお願いしたいこと

本人と保護者のニーズによって、年一回程度、在籍学級で理解授業を行っている。
内容は本人や担任と要相談。
本校では校内4年生を対象に、総合的な学習の時間で「聴覚障害について」の授業も行っている。

注意！

- ▶ 支援をお願いするのは、保護者が主体的に
 - ・ きこえの教室は保護者の要望を受けて、専門的立場からの提案、要請。
 - ・ 在籍校、担任との関係性を築きながら。
 - ・ 学年が変わる時、校内で引き継ぎが十分になされていない場合もある。
⇒ 毎年、改めて支援のお願いが必要。
- ▶ 令和3年度の障害者差別解消法の改正により、合理的配慮は義務化されたが・・・
 - ・ 先生によって差があることも事実。色々な子がいて対応が難しいと言われることも・・・
 - ・ 常に求め続けることと、やってもらって当たり前ではなく、対・人なのだから、感謝の気持ちを忘れないことが大事。

今日お話しする内容

- ▶ ①きこえの教室に求められること
- ▶ ②実際の指導について
- ▶ ③難聴児に身につけさせたい力

難聴児に身につけさせたい4つの力

- ▶ ①自ら情報を得ようとする力
 - ・ 聞き取りづらい環境の中でも、周りを見てアンテナをはる
 - ・ 自分で調べたり、人に尋ねたりして情報を積極的に得る
- ▶ ②推測する力
 - ・ 音声から内容をイメージして、行動に移す
 - ・ 断片的な情報を整理して、「もしかしてこういうことかな？」
- ▶ ③自ら発信する力
 - ・ 分からないときは「分からない」「聞こえなかったからもう一回言って」「教えて」とはっきり相手に求める力。
 - ・ 困っていることを恥ずかしがらずに、「書いて」「教えて」ヘルプできる力

難聴児に身につけさせたい4つの力

▶ ④ 自己肯定感、難聴のある自分のアイデンティティの確立

- ・私はどう？ 難聴？ 障害者？
- ・自分の聞こえにくさを正しく理解したうえで、

😊 今の自分のままでよい

😊 今の自分が好き

「聞こえにくさは、ひとつの個性」

でも配慮は必要！

その子らしさが輝く大人になるよう

「今私たちにできることは何？」

と常に考えていきたいと思っています



おわり

ご清聴ありがとうございました😊